

# Weekly Report

国際ロータリー第2750地区 東京多摩グリーンロータリークラブ

1993~1994年度クラブ目標 “出会いを大切にしよう……例会で、みんなが、待っている”

## 第157回 例会報告 (1/19)

司会者 SAA

藤本 吉文

◇点鐘

会長 横倉 舜三

◇ロータリーソング「手に手をつないで」

ソングリーダー 菊池 敏

◇お客様紹介

会長 横倉 舜三

津田 進様

(川崎北RC)

篠塚 武雄様

(東京多摩RC)

井上 好弘様

( " )

斉藤 哲彦様

( " )

高野 隆夫様

( " )

## ◆ 会務報告 会長 横倉 舜三

RI第2750地区1995-96年度ガバナーノミニーに、丸山宏会員(東京銀座RC)が決定したので、地区内全会員に宣言するとのお知らせが紫野ガバナーからありましたのでご報告致します。

## ◆ 幹事報告 幹事 北村 幸彦

～地区大会登録のお願い～

RI、2750地区大会

1994.3.4(金)/5(土)

新高輪プリンスホテル…「国際館パミール」

19日現在、25名の登録をいただいておりますがガバナー事務所では70%の登録を依頼されておりますので少しでも多くの皆さんの参加を希望致します。特に3年未満の会員の皆さんは奮ってご参加下さい。今年は「ロータリー活動写真展」が開催され当クラブからもパネル4枚が展覧されます。

### 記念講演

大会第1日目 永井 路子

大会第2日目 松山 幸雄

### フォーラム

コーディネーター マリー・クリステース

パネラー ビエール・ボードリー

ペマ・ガルボ

神谷 健一

その他にも盛り沢山の企画が用意されておりますので多数のご参加を希望致します。

# 委員会報告

## ◆出席委員会 委員 根本 泰守

	総数	出席	M U	欠席	出席率
本日報告	53	45	3	4	90.57%
前回訂正	53	46	3	3	92.45%

### マークアップ

猪股 末男 (1/18 多摩)  
 中山 恒武 (1/18 多摩)  
 新海源四郎 (1/18 多摩)

### 欠席届出者

伊神 稔、若林 滋和、横倉 譲、伊東 巖  
 欠席者 なし

## ◆親睦委員会

★★★★★★★★★★

ニコニコ BOX

委員 鶴海 英三郎

★★★★★★★★★★

井上好弘様 昨日はたくさんのご出席ありがとうございました。今日はお世話になります。

森田 舞子 先週はバースデーソングありがとうございました。1月12日午後8時16分双子のうち長女(ゆきえ)、8時26分長男(幸也・ゆきや)が生まれました。母子共に健康です。2人共双子なのに2、500g以上ありました。

風間 茂穂 ワイフの誕生日祝を頂いて

赤尾 恭雄 津田先生、ようこそお越し下さいました。卓話を楽しみにしています。

津守 弘範 今年もよろしく、今年初めての例会出席です。

永田 健作 結婚記念日にステキなシャンペンをありがとうございました。

大熊 将夫 津田先生ご遠方のところようこそおいで頂きました。卓話を楽しみにしております。

足立潤三郎 遠藤会員、菊池会員、女房からニコニコ預かってきました。

橋本 幸夫 お客様方ようこそ

遠藤 二郎 お客様ようこそ

根本 泰守 商工会新年会で福袋。清酒メーカー新年会で1等賞と、利酒賞。今年は春からついでな。車に当たるなよ恩友の忠告。

吉沢 洋景 暖冬とはいえ、さすがに寒くなりましたね

北村 幸彦 「シンポジウム」の素晴らしい記念誌が出来たので

小城 章員 バースデーカードありがとうございました。

大松 誠二 女房の誕生日を思い出させてくれたことと、モンゴル募金(サインバイノウ)の御協力に感謝

以上 合計 26,000円

サインバイノウ募金 26,000円

合計 281,500円

目標 400,000円

残 118,500円 もう一息!!

## ◆ロータリー豆知識

ロータリー情報委員長 赤尾 恭雄

今日は「日本のロータリーの歩み」としてレポートしました。日本人ロータリアン第1号の福島喜三次氏に閉しても記述してありますのでよくお読みください。また今月は「ロータリー理解推進月間」という事ですから本日もお招きしている津田進先生の卓話をよくご理解下さるようお願いいたします。

## ◆社会奉仕委員会

委員長 隅 耕造

新しい多摩を考えるシンポジウムを終えてから早くも3ヶ月近くになりました。本日お手許に「新しい多摩を考えるシンポジウム」の記念誌を配布しております。制作にあたっては横倉会長の格別のご協力をいただき完成することが出来ました。皆様にご報告すると共に改めて感謝申し上げます。

## ◆お知らせ

吉尾 警太郎

第3回目の視覚障害者のゴルフ練習会を本日午後7時30分から南野ゴルフ練習場で行います。何名かの方にコーチ役をお願いしていますがゴルフをされない方も含めて更に多くの会員のご参加をお待ち致します。練習会は毎月第1・第3水曜日の夜に実施する予定ですので今後ともご協力をお願い致します。

田中 實

来たる2月2日午後1時30分より多摩そごう屋上にて伏見稻荷神社、初午祭を執り行います。伏見稻荷神社は地域振興、商売繁盛、交通安全などの守護神として広く知られております。不景気風を吹き飛ばす意味でも是非ご参加下さい。

## 卓 話 (1/12)

### 「'93 景気動向いろは」

若林 滋和

#### 従来型経済システムからの脱却

日本経済は今、50年に一度の大変革期にあるといえる。パラダイムの変化、構造変革期、などいろいろ表現されているが、一言でいえば、潜在成長率が2%台に低下する中で、従来型の政治・経済運営のやり方が限界に突き当た



たり、これを克服することが必須になっているということであろう。その限界とは輸出主導型の経済運営、官主導の産業政策、日本型企业経営に顕著に現れている。

既に来るべき新たな時代の「創造」を展望した上での「破壊」が進行しつつある。94年は95年以

降の景気反転を睨みながら、破壊の中に芽生えつつある新しい芽を育てていく年といえる。現状では依然として過去の残滓からの完全な脱却は無理にしても、市場開放、規制緩和、新社会資本整備、企業の新グローバル戦略の展開、など新たな布石を着実に打っていくことこそが閉塞突破の鍵になろう。

#### 厳しい局面が続く景気情勢

～マクロ編～

94年のマクロ的経済環境は、93年に引き続き厳しい調整局面が予想される。実質GDP成長率は93年度のマイナス0.6%に続き、2年連続でマイナス成長になる可能性も否定できない。生産設備のストック調整継続、雇用調整の本格化に伴う消費の低迷、そして輸出の減少などがその主たる背景である。

こうした状況の中で、本格的な政策の発動が必須となっており、所得税減税、公共投資追加に加え公定歩合の更なる引き下げなど、財政と金融の両面からの対策が求められる。また金融機関の不良債権の膨脹が融資の慎重化につながり景気回復の足かせとなっていることから、不良債権の流動化など構造問題克服のための政策が極めて重要となっている。

ただ厳しい情勢の中にもストック調整、リストラの進展、経常黒字の減少傾向、円高修正の動きなどいくつか明るい兆しも出てきており、これをどう定着させていくかが94年の重要なポイントであろう。

#### 低成長ながら下期の底入れ

～企業収益編～

以上のマクロ経済情勢を受けて、企業収益も厳しい状況が続く見通しとなっている。日本を代表する大企業NRI400(除く金融)ベースでは、94年度の経常利益は2.2%の増益予想となっているが、中小企業を含む広範な企業を対象とする法人企業統計ベースでは、製造業で10%を超える減益になる公算が強い。

しかしながらここで重要なのは、通年の予想よりも半期ベースの動きである。94年度上半期の減

益はほぼ避けられないとみられるが、下半期に関しては企業のコスト削減努力の奏功、景気対策の効果、売上減少圧力の緩和などから底入れし、10半期ぶりに増益に転じる可能性は高いと思われる。

いずれにせよ、NRI400の内、赤字企業が55社(7社に1社)ある一方で、黒字かつ増益予想の企業が91社(5社に1社)に上るといのように企業間格差が極めて大きくなっている点は、セクター、銘柄選別が非常に重要になっていることを示している。

### 日本の構造問題と抜本的対応策

日本企業がこれまで、「シェア重視の量的拡大に経営の重心がおかれ、収益性を無視してきた」ことは広く指摘されることである。事実、株式投資の観点から最も重視されるROE(株主資本利益率)は低位に放置され、今や長期金利を下回る状況となっている。これには日本特有の株式持ち合いなども影響しているが、より根本には過去の過剰投資・過当競争体質、市場の成熟、国際競争力の低下などの要因が働いている。

間接金融中心の日本的な資金配分体系は、金融自由化・国際化を機に徐々に崩れつつある。逆に直接金融の重要性は今後ますます高まる方向にあり、資本市場での個々の企業に対する評価がその企業の資金調達コストに直結してくる。低成長経済下で企業が如何にROEを高め成長力を強化するか、そしてそれとともに株主への収益還元を図っていくかという基本的姿勢が問われる時代に入りつつあると言える。そのためには、リストラクチャリングの徹底、コアスキルへの特化、多国籍化の進展などの抜本的対策が打たれなければならない。こうした方向性が明確化している企業が注目されよう。

### 低成長からの脱出策は規制緩和

日本の物価水準が世界一高いことは周知の事実

である。名目経済成長率が低迷し賃金が伸び悩む中で、内外価格差の是正により消費者の実質購買力を向上させることは、マクロ経済運営上も非常に有効な景気対策となり得る。内外価格差の元凶となっている政府の規制による競争制限的慣行や流通制度の複雑性を極力排除することが、内外から期待されている最も重要な課題の一つである。実はもう既に流通・通信・食品・医薬品などの分野では、当局側からの規制緩和の動きや、民間側からの従来慣行を打ち破る動きが広範に出てきており、これが新たなビジネス機会の創出となつて、産業に活力を注ぎ込んでいる。

また公共事業の経費配分の硬直化も経済政策上の問題点として指摘されている。日本の道路・住宅事情を見る限りいまだに従来型のインフラ整備も十分とは言い難いが、今後は、次世代通信網など新しい産業分野を育成するためのインフラ整備へのシフトが強く要請されている。情報通信産業の比重が高まった現在の日本経済においては、そうした「新社会資本」造りが、短期的にも経済的波及効果が大きく、長期的にも産業空洞化や雇用問題といった課題を克服する手段となる。

戦争で失われた国力を世界のトップレベルにまで回復させるために、あらゆる産業を護り育ててきた時代が終わろうとしている。これまで日本の復興・成長を支えてきたシステムは、成長制約要因へと徐々に変質しつつある。戦後の産業政策全般に転換が求められている。



若林様としては、今景気が悪くとも、2年後(以降・位)には必ず春が訪れ、明るい光をさすので…。皆様方はくじけず、負け組とならずに、経営方針をきちんと立てて、間違えずに進んでほしいとのお気持ちを述べたかったそうです。

(森田・記)



## 東京多摩グリーンロータリークラブ

会長：横倉 舜三      副委員長：森田 舞子  
幹事：北村 幸彦      委員：海野 栄一・奥木 博勝・吉沢 洋景  
会報委員長：小島 周二郎      小坂 一郎・佐伯 和廣

事務局：東京都多摩市落合547  
多摩センタービル7F  
TEL 0423(72)6463 / FAX 0423(72)6491

※例会場 多摩そごうデパート7F サファイヤバンケットルーム

※例会日 毎週水曜日12:30 月の最終例会18:30